**大阪大学蛋白質研究所先端核磁気共鳴装置群利用報告書**

**（トライアルユース装置性能試験利用）**

|  |  |
| --- | --- |
| 利用企業名 |  |
| 利用者部署、職位、氏名 |  |
| 連絡先　住所 |  |
| 連絡先　電話番号Fax、E-Mail | TEL： FAX： E-mail： |
| 利用課題名 | □　装置性能試験□　講習会 |
| 利用実施時期及び期間 | 平成　　年　　月　　日　～　平成　　年　　月　　日総利用日数：各1日　　 |
| 利用ＮＭＲ装置 | □950 MHz（超低温プローブ、溶液）　□800 MHz（超低温プローブ、溶液）□700 MHz（固体）　□700　MHz（超高感度固体DNP）□600 MHz（超高感度固体DNP）　□600 MHz（溶液）□500 MHz（固体）　□500 MHz（溶液）　□400 MHz（溶液） |
| 講習会または装置性能試験の内容 | □　実験方法取得のための講習会□　操作方法習得のための講習会□　装置性能試験（線幅、パルス幅の測定など） |
| 内容 |
| 通信欄 | （上記の項目以外でご意見等あればお願いします。） |

本報告書については、印刷または必要な編集・加工を行った上で公開します。また、別途開催予定の成果報告会・シンポジウムや委託事業報告書作成時において、本報告書の内容についての資料作成または発表をお願いする場合があります。

**「トライアルユース講習会・装置性能試験」利用　利用報告書作成の注意事項**

**利用報告書には、本利用で測定したスペクトルを添付してください。スペクトルには、①利用試料名　②パルスプログラム名　③測定パラメータを添付してください。**

**ご自身でスペクトルの加工が困難な場合には、生データを送付いただきますと、施設側でスペクトルを加工いたします。**